

「医療機関の部門別収支に関する調査」に関するこれまでの経過

1. 本調査の目的

本調査は、平成 15 年 3 月 28 日の閣議決定（「健康保険法等の一部を改正する法律附則第 2 条第 2 項の規定に基づく基本方針」）に基づき、診療報酬体系に医療機関のコスト等を適切に反映させるため、医療機関の診療科部門別収支の統一的な計算手法を開発することを目的とし、平成 15 年度から調査研究を開始した。

2. これまでの経過

- 平成 15 年度以降、「医療機関のコスト調査分科会」において研究・検討を重ね、平成 20 年度は、5 年間の調査研究の成果を用いた調査を試行的に実施した。具体的には、①病院における診療科別の収支を算定するための「一般原価調査」と、②病院の中央診療部門における費用を各診療科に配賦するための係数を作成するための「特殊原価調査」を実施した。
- 平成 20 年度調査は平成 21 年 7 月 10 日に開催されたコスト調査分科会及び 7 月 29 日に開催された中医協・基本問題小委員会に報告され、調査結果については、平成 19 年度までの調査研究での結果と概ね同様の傾向を示しており、現行の調査手法については、「精度の高いものが確立した」と評価することができるとされたところである。
- 一方、平成 20 年度調査の結果、以下のような問題点もが明らかとなった。
 - ① 調査項目によっては本調査のために別途詳細なデータをとるなど、調査客体医療機関の負担が大きいため、調査対象病院の確保が難しく、調査に参加しても途中で辞退する病院も多いこと。

（参考）平成 20 年度試行的調査の実績	
調査対象とする病院の目標数	1 4 0 病院
調査参加を依頼した病院数	5 9 7 病院
参加応諾した病院数	1 9 0 病院
最後まで調査に参加した病院数	1 2 7 病院
 - ② 結果的に最後まで参加できた病院は、D P C 対象病院と D P C 準備病院だけとなっていること。
- こうした状況を踏まえ、本調査が一定の精度を確保しつつ可能な限り多様な医療機関のデータを収集できるものとなるよう、平成 21 年度においては、本調査における負担や問題点等に関するアンケート調査を実施し、その結果を参考に今後の調査に向けての簡素化の方法について検討することとなった。

(参 考)

診療科部門別収支計算の方法

診療科別収支の計算は、補助・管理部門の収益・費用及び中央診療部門の収益・費用を段階的に配賦する「階梯式配賦」という方法によって行われる。

(1) 一次計上

病院における各部門（例：病棟、外来診療室、手術室、総務課等）を入院部門、外来部門、中央診療部門、補助・管理部門の4つの部門に分け、各部門で発生した収益、費用のうち直接把握できる科目については該当部門に直接計上し、直接結びつけられない科目は、基準値を用いて按分しその値を各部門に計上する。

(2) 二次配賦

病院全体に係る業務を行っている補助・管理部門（医事課や総務課等）に計上された費用を、各診療科の患者数比率や面積比率等を基準として入院部門、外来部門、中央診療部門に配賦する。

(3) 三次配賦

中央診療部門（手術室、検査室等）に計上された収益、費用を入院部門、外来部門に再度配賦し、最終的に入院外来別、診療科別の収支計算結果を算出する。なお、この三次配賦のうち手術、検査および画像診断部門の給与費については、「特殊原価調査」から算出された「等価係数」等を基準として使用する。

階梯式配賦イメージ

<一次計上>

以下4部門に収益、費用を計上する

入院部門			外来部門			中央診療部門				補助・管理部門			
内科	外科	⋮	内科	外科	⋮	手術	検査	画像診断	⋮	支援系	診療系	管理系	運営系

<二次配賦>

補助・管理部門の費用を入院部門、外来部門、中央診療部門に配賦する

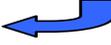
入院部門			外来部門			中央診療部門				補助・管理部門			
内科	外科	⋮	内科	外科	⋮	手術	検査	画像診断	⋮	支援系	診療系	管理系	運営系



<三次配賦>

中央診療部門の収益・費用を入院部門、外来部門に配賦する

入院部門			外来部門			中央診療部門			
内科	外科	⋮	内科	外科	⋮	手術	検査	画像診断	⋮



一次計上基準（科目別）

科目		計上基準		
医業収益	入院診療収益	レセ基本及び特掲点数比		
	室料差額収益	直課室料差額収益		
	外来診療収益	レセ基本及び特掲点数比		
	保健予防活動収益	一括計上_健診		
	受託検査・施設利用収益	一括計上_検査		
	その他の医業収益	一括計上_その他		
	保険等査定減	レセ基本及び特掲点数比		
医業費用	材料費	医薬品費	レセ薬剤点数比	
		診療材料費	(請求材料相当)レセ材料点数比	
		医療消耗器具備品費	(請求外材料相当)レセ診療行為点数比	
		給食用材料費	一括計上_栄養	
	給与費	給料	医師勤務時間比、職種別職員数比	
		賞与	医師勤務時間比、職種別職員数比	
		賞与引当金繰入額	職員給金額比	
		退職給与費用	職員給金額比	
		法定福利費	職員給金額比	
	委託費	検査委託費	一括計上_検査	
		給食委託費	一括計上_栄養	
		寝具委託費	診療科別病床数比	
		医事委託費	一括計上_医事	
		清掃委託費	所属別面積比	
		保守委託費	一括計上_施設管理	
		その他の委託費	診療科別延べ患者数比	
	設備関係費	減価償却費	医療用器械備品減価償却費	レセ基本及び特掲点数比
			放射性同位元素減価償却費	一括計上_画像
		器械賃借料	その他の減価償却費	所属別面積比
			医療用機器賃借料	レセ基本及び特掲点数比
		地代家賃	その他の機器賃借料	所属別職員数比
			医療用器械修繕費	レセ基本及び特掲点数比
		修繕費	その他の修繕費	所属別職員数比
			固定資産税等	所属別面積比
		器械保守料	医療用機器保守料	レセ基本及び特掲点数比
			その他の器械保守料	所属別職員数比
	器械設備保険料	医療用機器設備保険料	レセ基本及び特掲点数比	
		その他の器械設備保険料	所属別職員数比	
	車両関係費		所属別職員数比	
			所属別職員数比	
	研究研修費	研究費	所属別職員数比	
		研修費	所属別職員数比	
	経費	福利厚生費	所属別職員数比	
旅費交通費		所属別職員数比		
職員被服費		所属別職員数比		
通信費		所属別職員数比		
広告宣伝費		診療科別延べ患者数比		
消耗品費		所属別職員数比		
消耗器具備品費		所属別職員数比		
会議費		所属別職員数比		
水道光熱費		所属別面積比		
保険料		所属別職員数比		
交際費		所属別職員数比		
諸会費		所属別職員数比		
租税公課		所属別職員数比		
医業貸倒損失		レセ基本及び特掲点数比		
貸倒引当金繰入額		レセ基本及び特掲点数比		
雑費		所属別職員数比		
控除対象外消費税等負担額		(材料費+委託費)比		
本部費配賦額	一括計上_運営管理系			
医業外収益	受取利息及び配当金	一括計上_運営管理系		
	有価証券売却益	一括計上_運営管理系		
	運営費補助金収益	一括計上_運営管理系		
	施設設備補助金収益	一括計上_運営管理系		
	患者外給食収益	一括計上_運営管理系		
	その他の医業外収益	一括計上_運営管理系		
医業外費用	支払利息	一括計上_運営管理系		
	有価証券売却損	一括計上_運営管理系		
	患者外給食用材料費	一括計上_運営管理系		
	診療費免減額	一括計上_運営管理系		
	医業外貸倒損失	一括計上_運営管理系		
	貸倒引当金医業外繰入額	一括計上_運営管理系		
	その他の医業外費用	一括計上_運営管理系		

二次配賦基準

		補助・管理部門					
		診療支援系			運営管理系		
		医事	用度	情報管理	総務	施設管理	図書室
医業費用	給与費	延べ患者数比率			職員数比率	面積比率	医師数比率
	委託費						
	設備関係費						
	研究研修費	延べ患者数比率			職員数比率		
	経費	職員数比率			面積比率		医師数比率
	控除対象外 消費税等負担額	—	—	—	(材料費+委託費)比率		—
	本部費配賦額	職員数比率			面積比率		医師数比率
医業外収益		—	—	—	職員数比率		—
医業外費用		—	—	—	職員数比率		—

三次配賦基準

科目		中央診療部門										
		手術	検査	画像診断	リハ	人工透析	薬剤	栄養	地域連携	健診	その他	
医業収益	入院収益	K手術_点数比	D検査_点数比	E画像診断_点数比	Hリハ_リテーショ ン_点数比	J038人工腎 臓_点数比	F投薬_点数 比	入院時食餌 療養費・特 別食加算・ 食堂加算 _SI点数比	C在宅患者 診療・指導 _点数比	保険外収益 (調査票)	その他_点 数比	
	外来収益											
	その他の医業収益											
医業費用	医薬品費	K手術_IY点 数比	D検査_IY点 数比	E画像診断 _IY点数比	Hリハ_リテーショ ン_IY点数比	J038人工腎 臓_IY点数比	F投薬_IY点 数比	/	C在宅患者 診療・指導 _点数比	/	その他_点 数比	
	材料費	給食用材料費	/	/	/	/	/	/	入院延べ患 者数比	/	/	
		診療材料費	K手術_T0点 数比(請求 外相当分 は、K手術 _SI点数 比)	D検査_T0点 数比(請求 外相当分 は、D検査 _SI点数 比)	E画像診断 _T0点数比 (請求外相 当分は、E画 像診断_SI 点数比)	Hリハ_リテーショ ン_T0点数比	J038人工腎 臓_T0点数 比	F投薬_T0点 数比	/	C在宅患者 診療・指導 _点数比	/	その他_点 数比
		医療消耗器具備品 費										
	給与費	等価係数 (手術・給 与費)×実 施件数	等価係数 (検査・給 与費)×実 施件数	等価係数 (画像診 断・給与 費)×実 施件数	Hリハ_リテーショ ン_SI点数比	J038人工腎 臓_SI点数 比	F投薬_SI点 数比	入院延べ患 者数比	/	保険外収益 (調査票)	/	
	委託費	検査委託費	等価係数 (検査・委 託費)×実 施件数	等価係数 (検査・委 託費)×実 施件数	等価係数 (検査・委 託費)×実 施件数	延べ患者数比						
		給食委託費	K手術_SI点 数比	D検査_SI点 数比	E画像診断_SI 点数比							
		寝具委託費										
		医事委託費										
		清掃委託費										
		保守委託費 その他の委託費										
	設備関係費	延べ患者数比										
	研究研修費	K手術_SI点 数比	D検査_SI点 数比	E画像診断_SI 点数比								
経費	K手術_SI点 数比	D検査_SI点 数比	E画像診断_SI 点数比									
控除対象外消費税等							(材料費+委託費)比					
本部費配賦額							職員数比率					
医業外収益								職員数比率				
医業外費用								職員数比率				

(注1) SI：診療行為、IY：医薬品、T0：特定保険医療材料